

2017年
6月号

カトリック笹丘教会
教会 ニュース

福岡市中央区笹丘1-16-1
☎761-4504 F761-4524
広報委員会

福岡教区今年度の目標・・・「いつくしみから踏み出す第一歩」
小教区今年度のテーマ・・・「届けよう、神のいつくしみを共に」

No. 0058



大天使聖ラファエルとピア・カウンセリング

主任司祭 遠山満

大きな苦しみを経験した人に対して、普通のカウンセリングでは対処できないと言われます。それは、クライアントの苦しみが大きすぎて、カウンセラーには理解できないからです。このような場合、しばしば取られるカウンセリングの手法は、ピア・カウンセリングという方法です。大きな苦しみを経験した当事者同士が集まり、助け合う方法です。阪神大震災の時、親を失った子供たちが、神戸のレインボーハウスで支援を受けながら成長しました。成長し、立派になった彼らが、東北の震災の時、親を失った子供たちの世話をしていました。神戸のレインボーハウスの支援を受けて成長した青年たちは、東北の震災で親を亡くした子供たちの中に、当時の自分たちの姿を見たのではないかと思います。

大きな苦しみを経験する時、私達は誰でも、自分の殻に閉じ籠ろうとします。けれども、自分の近くに、自分と同じような、あるいは自分の苦しみを超えるような苦しみを体験した人がいるならば、その人は自分の殻から出て、相手を助けようとしています。その時、心傷つき、自分の殻に閉じ籠っている人の癒しが始まるのではないかと思います。

ところで、今月のミサの第一朗読では、数日間続けてトビト記が読まれました。トビト記は、目を患い視力を失ったトビトの嘆きと、自らが嫁いだ七人の夫を失ったサラの嘆きが神様に届き、二人の癒しの為に大天使聖ラファエルが遣わされたことが記されている旧約聖書続編の一つの書です。大天使聖ラファエルは、トビトの息子のトビアとサラを出会わせ、サラを苦しみから解放するとともに、トビトの目を癒し、その目の涙を拭きます。二人の苦しみを聴き、二人の癒しの為に働いた大天使聖ラファエルは、あたかもピア・カウンセリングのファシリテーターのようです。

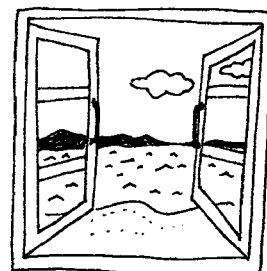
私達の周りにも、沢山の困難を抱えた人たちがいます。その人たちの中には、私達の想像を絶するような苦しみを体験した人たちがいます。私達が、その人たちの為に、大天使聖ラファエルのような役割を果たしていくことができますように。そして何よりも、苦しむ人たちの輪の中心にいらっしゃるイエス様と、その人たちが出会うための仲介役となっていくことができますよう、必要な恵みを願いましょう。

開催日時：2017年6月4日（日）11：40～13：00

開催場所：信徒会館

司会：川原 書記：牧山

† 始めの祈り—主の祈り



1. 笹丘小教区維持費会計について

財務委員 藤村さんより、平成28年度の維持費・施設費・建設費の決算報告、教会建設事業収支の状況及び建設借入金の返済状況報告、平成29年度の維持費・施設費・建設費の予算説明が行われた。
会長より

維持費会計の備品予算で、大型スクリーンとホワイトボードを購入予定であると報告あり。

2. 今年度小教区目標について

教区目標「いつくしみから踏み出す第一歩」及び、教区重点課題「1. 青少年への信仰伝達 2. 教会を離れている方々への配慮」が宮原司教様より示されている。

これに沿った小教区目標と具体的取り組みについて参加者の意見が求められた。

目標（案）

- ①「祈り」～毎日笑っていますか～
- ②「やってみよう できることを」
- ③「教会はあったかいんだからあ」
- ④「創ろう、神様の家」
- ⑤「さあ わたしにできる一人一役をはじめよう」
- ⑥「兄弟姉妹をいつくしみ、共同体の和を祈る」

検討、討議の結果、

②⑤あたりを今後の役員会で話し合っで決めることで参加者の了解を得た。

なお 具体的取り組みとしての提案

ミサや行事の時に、希望者だけでも名札を付けるようにしたい。

過去に取り組んで自然消滅した経緯があるが、名前で呼び合えることは教会を離れている方々への配慮にもなる。

3. その他

厨房に保管しているプロパンガスコンロ4つについて、現在は使用できないため処分することで参加者の了解を得た。一応希望者を募ってみることになった。

† 終わりの祈り—アヴェ・マリアの祈り

松尾太神父様 司祭叙階おめでとうございます

4月22日(土) 司祭叙階式は長崎の城山教会聖堂で信徒、修道者で埋め尽くされた中を高見三明大司教と約45名の司祭団の入堂で始まった。笹丘教会からも貸切バス2台を含め110名が叙階のお恵み、その時を見届けようと参列した。そして、待望の笹丘小教区出身の初めての司祭が誕生した。祝賀会は会場を体育館に移し大勢の祝福の中、終始和やかな雰囲気、多彩な出し物が祝賀会を盛り上げた。我が「笹丘ファミリア合唱団」はトップバッターで日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮し拍手を浴びた。

城山教会聖堂



神父様の両親の祝福



平成29年度新役員紹介

5月21日に行われた信者総会において次の方々が新年度の役員に選出されました。みんなで協力していきましょう。



会長 川原義広



副会長 辻部大介



副会長 前田美由紀



書記 牧山幸二



書記 松尾充子



会計 前田史美



会計 菅 美樹



福岡地区信徒協
畠山真理男



福岡地区女性の会
川原圭子



✧ 信仰のルーツ ✧

私の祖先 私を創った人々のルーツを語る



——— その5 ———

前月号までのあらすじ

ある信者さんの祖父善之助は、西彼杵郡外海黒崎村生まれで、北松浦郡田平で育ちました。長男であった善之助は、枢機卿を輩出したほどのカトリック信者一族の娘との結婚式目前で家出しました。百姓を継ぐのが嫌で、長崎の三菱造船所で働くためでした。新生活で新たにカトリック信者として家庭を持ちました。筆者の目から見た祖父善之助は近寄りがたい存在でした。祖父善之助の死後、孫の一人が司祭になりました。赴任した田平地区の教会でその神父を白い目で見るとお年寄り達がいきました。

信徒会長から、若き日の祖父がこの田平の地で、しでかしたことの一部始終を聞いた〇神父は、絶句した。それは〇神父が初めて聞く話であり、同時にこれまで自分に対して頑なな態度をとっていたお年寄り達のこと、霧が晴れたように理解できたが、さてこれからどうしたらいいものか、どうすれば彼らに受け入れられるのかと考えた。そして主日のミサの後の信者会の場で、祖父が若き日にここでしでかしたことを信者達に謝り、またそれについて自分はまったく聞かされていなかったことを話した。その後、〇神父に対する年寄り達の態度はあつけないほど軟化した。神父はほっとすると同時に、遥か昔にじいさんがやらかしたことを、なんで今自分が謝らないといかんのかと、少々腑に落ちない思いはあつた。〇神父は今、五島地区の教会で刺し身三昧の日々を送っている。

さて、5回に亘って「信仰のルーツ」をいうテーマで書かせていただいたが、気がつけば祖父善之助のことだけになってしまった。当初は3回ほどで終わる予定だったが、書き始めたら、あれもこれもと、結局5回も続いてしまった。中には書くべきかどうか、悩んだことも幾つかある。特に3月号で書いた「子捨て川」のことだ。色々な見方があるかもしれないが、否定することも、耳を塞ぐことも、また逆に大仰に述べることも、どれもすべきではないと私は思う。ただその事実に向き合い、先祖を想い、寄り添い、祈ることをやっていきたい。

実は書きたいことはまだまだある。限りなく優しくあつた祖母のこと。祖父善之助の代わりに家を継いだ弟の幸吉爺さんのこと。少年の頃の父と聖母の騎士のゼノさんのこと。そして、あの、原爆のこと……。しかし「教会ニュース」と言う場で私事を述べることは、これ以上続けるべきではないと思う。みなさんそれぞれに家族の歴史があり、それが今の個々の存在に繋がっている。確かなのは、どの人、どの家族にも、神がいたことだつた。

拙い私の原稿を辛抱強く待ち、掲載してくださつた編集委員の方々と、何より読んで下さつた笹丘教会の皆様、心から感謝を贈ります。皆様に、神のお恵みが限りなくありますように。

たくさんの方の原稿をありがとうございました。日本のカトリックの歴史を感じる読み応えある長編をいただき感謝いたします。今後の展開が気になるころですが、それはまたのお楽しみにしておきましょう。(広報委員)

【訂正：2月号の信仰のルーツ 下から4行目 二十歳を超えた善一郎→善之助】

編集後記

梅雨入りし今年もまもなく折り返し・・・早いものですね。この半年の自分のビッグニュースは、松尾神父の叙階式に長崎まで仲間を乗せて車を運転して行ったことです。帰りは有料道路に入りそこなったりして、順調だったとは言えませんが、事故にも遭遇せず無事だったことが何より神様のお恵みだった、と感謝しています。と言うか、仲間を乗せて神聖なるお祝いの場に向かうことに対して神様が応援してくださらないはずがない！との気持ちが自分を奮い立たせました。式では広報委員の仕事としてカメラのシャッターばかり押していたのが残念でした。お祝いの気持ちが半減するからです。ルカによる福音 10.38-42 箇所を思い起こしました。「おもてなしの準備を手伝わないで姉妹マリアは主の足元に座って、イエスのはなしに聞き入っていた・・・主は、マリアは良い方を選んだ・・・」とおしゃった。神様は、落ち着いて祝福の場に参列することだけを望んでらっしゃたのでは？写真撮影は許可をいただく必要があったのでは？と反省しました。(J.N)